

地本主催 中国平和研修を開催

前事不忘・后事之師を心に誓う！！

JR東海労新幹線関西地本主催の中国平和研修(2009年10月16日～20日)に、関西地本の組合員、おりづるの会、そして名古屋地本、JR貨物労組、シーサーの会、教組OBといった組織内・外を問わず参加いただきました。

参加者は20名(1名は随員)、大連～瀋陽～撫順～北京の行程で飛行機や列車やバスを使っの長旅でしたが、改めて中国大陸の広さを実感する研修でした。

中国平和研修も、1997年の第1回研修から通算して今回で12回目を迎えました。回を重ねるごとに中国も大きく様変わりし、特に昨年『北京オリンピック』が開催されたこともあり、いたるところで超高層ビルが立ち並び、高速道路が整備され、まさに今や世界第2位の高度経済成長を成し遂げた中国の一面も見ることができました。

その一方では今なお地方において貧富の差を感じる風景が、あちらこちらで見受けられました。これもまた、共産主義国と言われる中国の偽れざる姿です。

研修の目的である過去、旧日本軍が中国への侵略戦争で残した傷跡、その戦跡地や中国4000年の歴史と文化に触れることが、今回も体験することができました。

今回の研修では、これまで必ず訪れていた瀋陽の大石橋市にある『虎石溝万人坑紀念館』の見学を、工事の都合で断念せざるおえませんでした。それに変わる見学地として阜新の『万人坑紀念館』を初めて見学することができたことは、新たな発見となりました。今なお中国のいたるところでは、侵略戦争当時に日本の大企業が石炭や鉬石の採掘のために行った強制労働で、無残な死を遂げた中国人民の遺骨が安置されているのです。

参加者一同は、過去に旧日本軍や日本の大企業が犯した過ちを心から謝罪すると共に、二度と再び同じ過ちを起こさない誓いと世界平和を願って、献花と黙祷を捧げました。戦争の悲劇は、21世紀になっても止むことはありません。一部の支配者によって、今なお世界各地で戦争が繰り広げられています。

参加者一同は、今回の研修であらためて「前事不忘・后事之師」(過去の出来事を忘れる事なく、現在に教訓として生かす)を心に誓って、これからも世界平和のために奮闘することを決意しました。

最後に、今回の中国研修でカンパの協力をいただいた組合員の皆さん、ありがとうございました。心より感謝申し上げます。シェシェ！

